

## 指標及び取組みについて

## 【自殺対策計画】

基本目標（案）

○誰も自殺に追い込まれることのない地域づくり

項目	施策の項目	目標	指標（KPI）	目標値	取組み	担当課
1 教育・啓発 の推進	・市民に対する広報 活動・意識づくりの 推進	・自殺死亡者数を令和 4年度よりも減らす	人権啓発を実施した回数	19回／年	・人権のつどい等人権啓発事業の開催や、駅頭や街頭、各種イベントにおいて啓発品を配布	人権推進課 各総合支所総務管理課
			—	—	・健康福祉推進委員会を開催し、行政・社会福祉協議会・委員の出席のもと地域福祉の複合的な協議を行う ・福祉の相談窓口としての「ふくし総合相談窓口」を活用する	社会福祉課
2 相談・支援 ネットワ ークとそ れを支え る人材育 成	・教育分野と連携し た取組みの推進		メンタルヘルスチェックシステムのアクセス数	30,000アクセス／年	・自殺予防対策の周知啓発や情報発信（再掲） ・メンタルヘルスチェックシステムの運用（再掲）	健康医療課
			—	—	・市民のこころの健康維持・増進や普及・啓発を目的として、「こころの健康講座」を開催する	中央保健センター
			—	—	・一人一台端末を活用し、相談窓口を周知する ・児童生徒の人権問題等に関する啓発と意識の高揚を図る	指導課
			人権擁護委員を対象とした研修回数	1回／年	・人権擁護委員の資質を向上するための研修会を開催する	人権推進課
3 いきいき と安心し て暮らせ る地域づ くり	・相談・支援のネット ワークづくり(子 ども家庭分野、保健 分野、障がい分野、 高齢・介護分野、生 活困窮者、人権・暮 らし分野)  ・相談・支援を支え る人材育成  ・相談・支援のネット ワークづくり(子 ども家庭分野、保健 分野、障がい分野、 高齢・介護分野、生 活困窮者、人権・暮 らし分野)		久喜市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援対策連絡会議の開催	1回／年	・配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援対策を検討するため、連絡会議を開催し、庁内外の関係機関の連携を図る	市民生活課
			—	—	・外国籍市民支援事業により、外国籍市民に対して、日本語を勉強する機会と日常生活に必要な情報を提供する	市民生活課
			—	—	・消費生活相談事業により、消費生活に関する問題を抱える市民に対して、解決のための助言を与える	市民生活課
			—	—	・法律相談事業により、日常生活における法律的問題を抱える市民に対し、解決のための助言を与える	市民生活課
			—	—	・ふるさとハローワークを設置し、職業相談等の場を提供する	久喜ブランド推進課
			—	—	・内職相談を実施し、内職に関する相談の場を提供する	久喜ブランド推進課
			生活困窮者自立相談支援事業における自立支援計画（プラン）作成件数	28件／年	・生活困窮者個々の状況に応じた相談支援・関係機関との連携等適切に対応する	生活支援課
			障がい者に関する相談件数	10,000件／年	・相談支援事業所として、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がい、高次脳機能障がいを含む）、難病等の心身の機能の障がいがある人からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行う（再掲）	障がい者福祉課

項目	施策の項目	目標	指標 (KPI)	目標値	取組み	担当課
1 教育・啓発 の推進	・相談・支援のネットワークづくり(子ども家庭分野、保健分野、障がい分野、高齢・介護分野、生活困窮者、人権・暮らし分野)	・自殺死亡者数を令和4年度よりも減らす	障がい者虐待防止研修の開催	1回/年	・障がい者虐待防止事業として、障がい者に対する虐待の防止及び早期発見、虐待を受けた障がい者の迅速かつ適切な保護並びに養護者に対する適切な支援を行うとともに、関係機関との連携協力体制の整備を図る(再掲)	障がい者福祉課
			総合相談年間延件数	37,500件/年	・市内5カ所の地域包括支援センターにおいて、高齢者の様々な相談を受け、適切なサービスが利用できるよう支援する(再掲)	高齢者福祉課
2 相談・支援 ネットワークとそれを支える人材育成	・相談・支援を支える人材育成		介護保険相談員による介護サービス利用者等への相談件数	1,836件/年	・介護保険相談員が要支援・要介護認定を受けた高齢者等の自宅や施設等を訪問し、介護サービスや介護等に関する悩みや不安などの相談に応じる	介護保険課
			ゲートキーパー養成講座の受講者数	200人/年	・ゲートキーパー養成講座の実施(再掲)	健康医療課
3 いきいきと安心して暮らせる地域づくり	・相談・支援のネットワークづくり(子ども家庭分野、保健分野、障がい分野、高齢・介護分野、生活困窮者、人権・暮らし分野)		—	—	・保健師による相談や精神保健福祉士によるこころの健康相談など、精神保健相談業務を実施するとともに、必要に応じて関係部署、関係機関と連携した支援を行う	中央保健センター
			相談件数	令和4年度実績値比8%増	・育児、子育てに関する身近な相談窓口があることを、子育て世代向けにホームページ、SNS等を活用して周知する(再掲)	子ども未来課
	・見守り・居場所づくりの促進  ・生きがい・社会参加の促進  ・経済的支援に関する周知		相談員を対象とした研修の実施回数	1回以上/年	・小・中学校に相談室の設置及び相談員を配置し、児童生徒及び保護者の相談に応じ、悩みの解消を図る ・相談員等を対象に、様々な相談への対応力向上のための研修会を実施する	指導課
			—	—	・雇用・労働に係る制度について、関係機関のチラシ等を窓口に配架する等して周知を図る	久喜ブランド推進課
			要援護者見守り支援事業の新規登録者数	前年度比増	・区長、民生委員・児童委員、自主防災組織等とともに地域での要援護者見守り支援を行う	社会福祉課
			老人クラブの新規会員数	前年度比増	・地域で活躍している老人クラブの会員数を増やせるように活動等を周知する	
			生活困窮者自立相談支援事業における相談件数	令和4年度実績値比10%増	・生活に困窮している方を対象とした相談窓口があることを広報、ホームページ等を活用して周知する	生活支援課
			いきいきデイサービス会場数、年間実利用者数	24会場 400人/年	・要支援・要介護認定を受けていないが、家に閉じこもりがちで、介護予防が必要な高齢者を対象に、健康チェック、健康体操、給食、趣味活動等を実施する(再掲)	高齢者福祉課
			ゲートキーパー養成講座の受講者数	200人/年	・ゲートキーパー養成講座の実施(再掲)	健康医療課
			—	—	・上記の相談業務のほか、不登校・ひきこもりの家族がいる方を対象に、お互いの悩みや体験等の意見交換を目的とした「不登校・ひきこもり家族の集い」を開催する	中央保健センター
			主要なスポーツイベント・大会への参加者数	27,500人以上/年	・久喜マラソン大会やくき健康ウォーク、スポーツ体験など、誰もが体力や年齢に応じて参加できるイベントを開催する(再掲)	スポーツ振興課
			施設利用者数	令和4年度実績値比10%増	・乳幼児と保護者で、または小学生以上は一人でも遊びに来られる場所があることをチラシ、ホームページ、SNS等を活用して周知する	子ども未来課
—	—	・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況に応じて、教育活動指導員・教育活動支援員・教育活動看護支援員を配置し、支援体制を強化する	指導課			

項目	施策の項目	目標	指標 (KPI)	目標値	取組み	担当課
1 教育・啓発 の推進	・見守り・居場所づくりの促進	・自殺死亡者数を令和4年度よりも減らす	高齢者大学入学者数	74人／年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者大学の実施</li> <li>・市民大学の実施</li> <li>・放課後子ども教室の実施</li> <li>・子育て講座の実施</li> <li>・家庭教育学級の実施</li> </ul>	生涯学習課
2 相談・支援 ネットワークとそれを支える人材育成	・生きがい・社会参加の促進					
3 いきいきと安心して暮らせる地域づくり	・経済的支援に関する周知					